

幸福号出帆 (1980)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

時間 112分

初公開日 1980/11/15

公開情報 東映

【解説】

三島由紀夫の同名小説を、清水邦夫が脚色し斎藤耕一が監督。三島由紀夫没十年祭記念映画として製作された。服部克久が音楽を担当。

オペラ歌手志望の山路三津子は、かつてオペラ歌手だった母の正代、兄の敏夫、伯母のゆめ子と暮らしている。家族は貧しく、家賃を払えないでいたため、アパートの大家からは早く出て行けと追い立てられていた。翌朝の朝刊に、イタリアのソプラノ歌手コルレオーニが亡くなり妻の歌子が十億円の遺産を相続する、という記事が掲載された。コルレオーニは敏夫の父であり、正代は歌子と恋のライバルだったのだ。遺産の一部を横取りしようと、家族四人は歌子の家に向かうが、ひよんなことから歌子の屋敷で同居することになってしまう。

【クレジット】

監督	斎藤耕一
製作	森川幸美 村松正之
企画	葛井欣士郎
プロデューサー	村井範武 近藤治夫
原作	三島由紀夫
脚本	清水邦夫
撮影	兼松熙太郎
美術	朝倉摂
編集	杉原よ志
音楽	服部克久
助監督	笠倉隆
出演	藤真利子 倉越一郎 江波杏子 加藤治子 岸田今日子 高峰三枝子